

愛知県春日井市での 1人1台端末＋クラウド活用の授業と 情報活用能力育成の実践について ～研究開発学校：出川小・高森台中での実践報告～

愛知県春日井市

- 人口約31万
- 児童生徒数
約25500人
(各学年 約2800人)
- 学校数54校
小38校 中16校
- 教員数 約1450人



令和6年1月31日
春日井市教育委員会・教育研究所
水谷 年孝



おもな内容

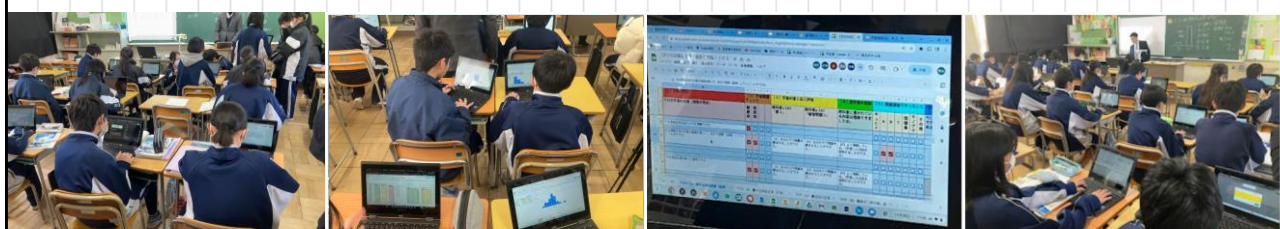
- 1 端末とクラウド活用の日常の授業の様子
- 2 カリキュラム編成の基本的な考え方
編成したカリキュラムについて
「情報の時間」の実践事例
- 3 児童・生徒は、どのように自分の成長
をとらえているか



8年前の高森台中 ごく普通の公立中学校



最近の高森台中の授業から



「1人1台端末＋クラウド活用で大きく変化」



自分で収集・整理した情報を見せ合いながら自由に議論

2022年5月 高森台中3年:社会



第二次世界大戦を引き起こした1番の原因は？

単元最後
での
生徒の
まとめ

【授業最初の自分の考え】

ドイツが第一次世界大戦で負けて、パリ講和会議のベルサイユ条約ですべての植民地を失ったことが一番の原因だと考えます。

なぜなら、第二次世界大戦が始まったのはドイツが世界恐慌を乗り切るために植民地を手に入れようとしてポーランドに侵攻したから始まった戦争だからです。なので、もし植民地を失っていなければドイツはイギリスと同じようにブロック経済で世界恐慌を乗り切ることができたはずだからです。

【班の考え】

ドイツが第一次世界大戦で負けて、パリ講和会議のベルサイユ条約ですべての植民地を失ったことと多額の賠償金を請求されたことだと思います。

なぜなら、ベルサイユ条約で植民地をすべて失ったり、多額の賠償金を請求されたりしたせいでヒトラー政権やファシズムに繋がったり、ポーランドに侵攻しイギリスやフランスが参戦して始まった戦争だから。

【今後、平和な世界を築いていくために必要なこと】

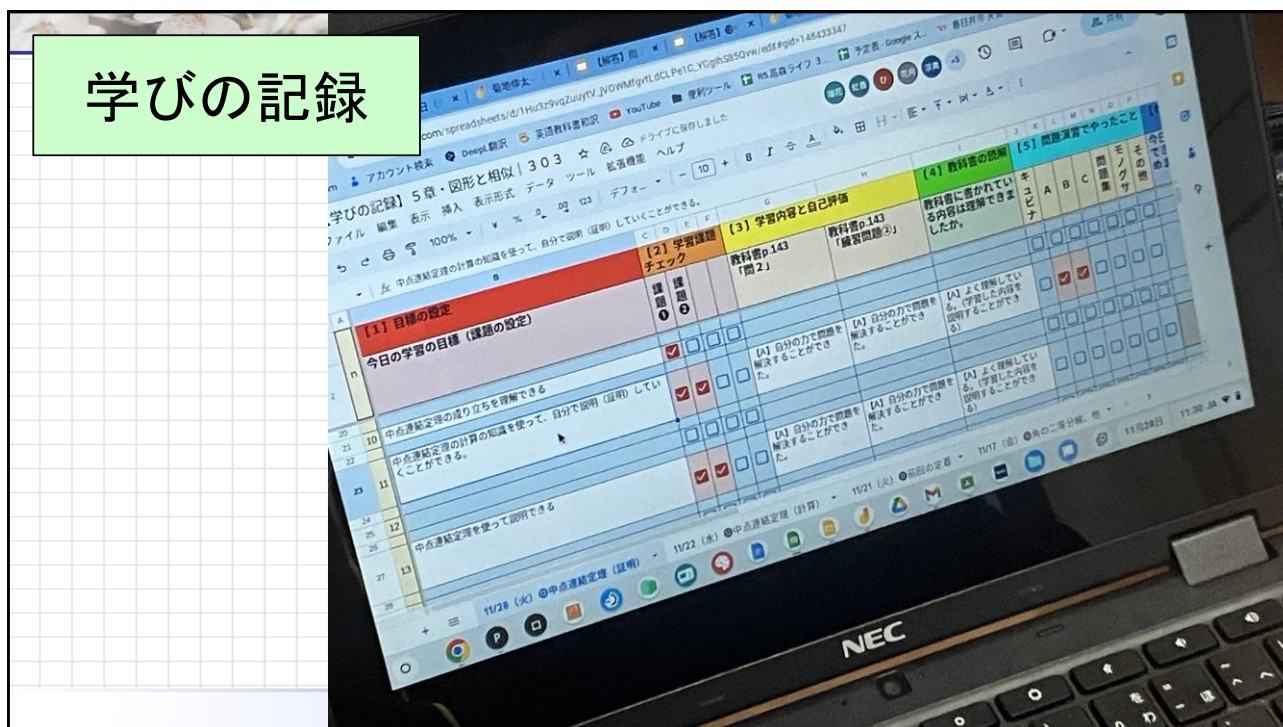
国という概念をなくし、この地球が一つの国となれば、内乱が様々な国で起こることがあまりないように、戦争もあまり起こらないのではないかと思います。ですが、国を1つにまとめあげようとする今のどの国が中心になるかなどの大きな揉め事が発生してそこでまた戦争が起こってしまうので現実的ではないと思います。いじめは相手のことを思いやればなくなるかもしれないけど、国と国ではそのような規模ではなく話し合いではどうしても決められないようなことを戦争して決めるので、仲良くして話し合っ



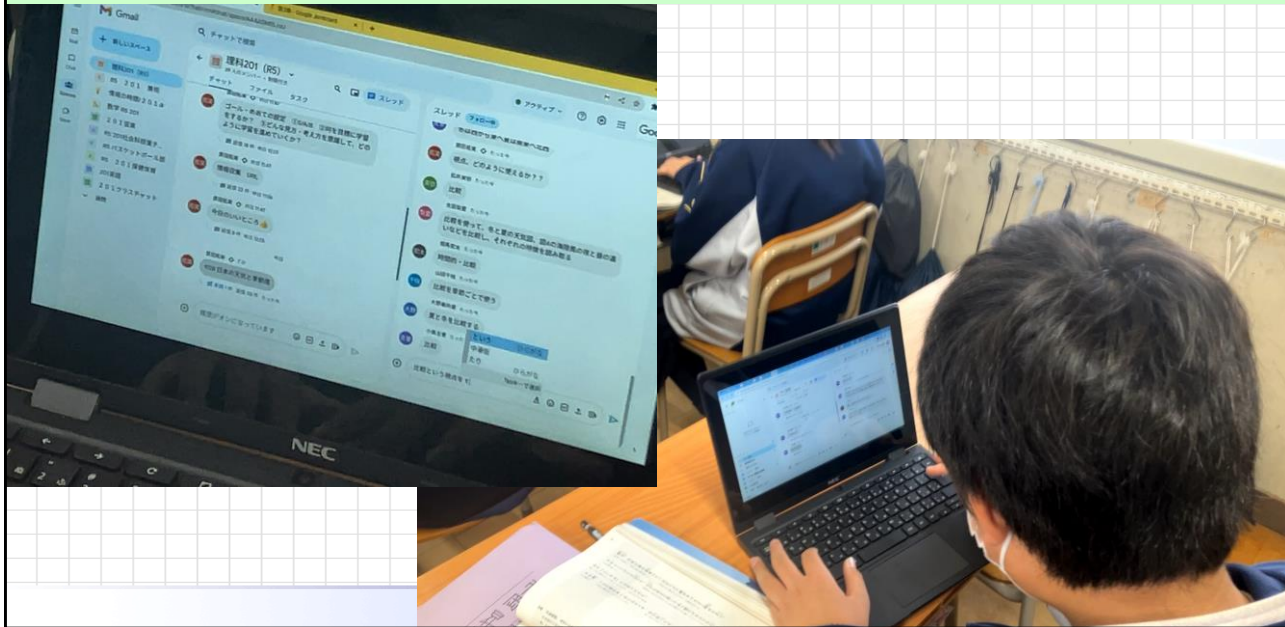
情報の収集→整理・分析→まとめ・表現



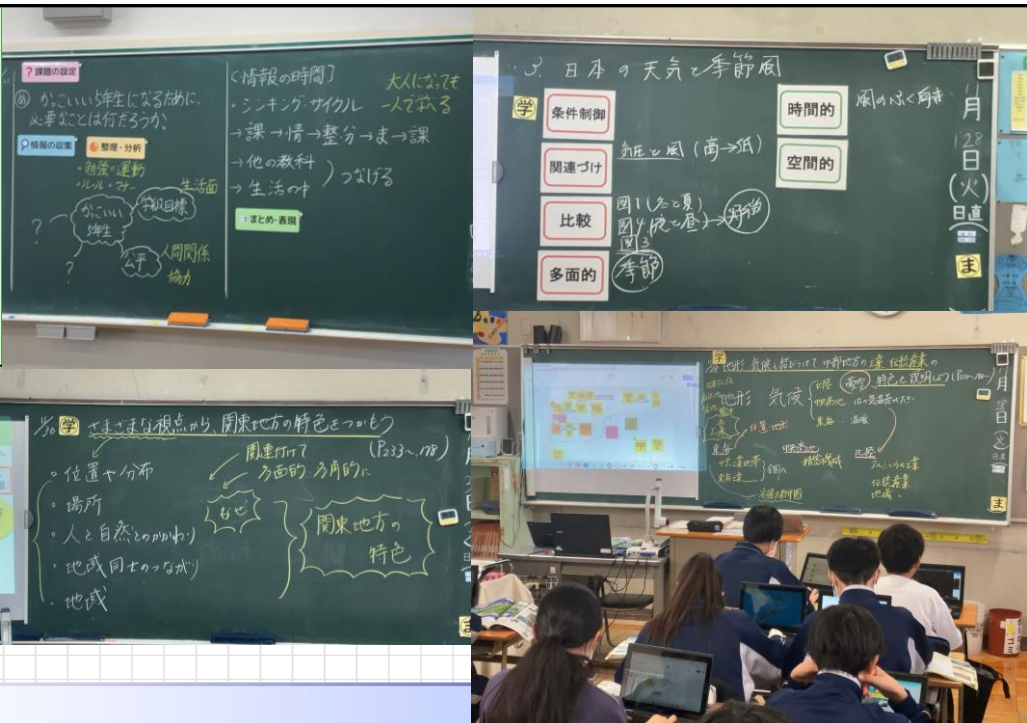
自分で情報の収集→形はそれぞれ



Chatの活用 コミュニケーション増大



板書も大きく変化



このようなアウトプットが中1で可能に

レポート

アフリカ州の経済成長に大切なのは教育だ。

今はダイヤモンドやレアメタルなどの資源に頼っているアフリカになぜ教育が大切なのか、それはそもそも人数が多いアフリカに人々の格差があることで進まないのだろうと考えたからだ。実際に教科書p94の図1、2を比較すると誰でもすぐ見てわかるように同じ陸の間でもこんなにも差がある。さらに、昔イギリスの植民地であったことやそれにより黒人が奴隷にされていたことが理由としてあげられる。2003年にははじめられた黒人経済力強化政策でも一部の黒人だけが黒いダイヤと呼ばれた。それにより黒人同士での格差が生まれるようになった。そこで格差をなくすためにどうしたらいいと考えたのが「教育」を発達させることだ。今でも学校に通っているアフリカ人は6割以下。さらに高校進学率ともなれば全国平均29%に比べて7%とかなり低い割合だ。その理由としてあげられるのが親が通学費や学費を払えないという理由だ。そこで家計を助けるために子どもたちが働かなければならないのだ。そこで使えると考えたのがスマートフォンだ。アフリカではスマートフォンの普及率が80.8%と多くの人々がスマートフォンを持っている。でもアフリカ人は稼ぐために持っているため動画などをあまり見ない。だが全体の約80%の人がスマートフォンを持っているということは学校を行かなくてもYou Tubeなどで学ぶことができるのだ。そうしたらスマートフォンで稼ぎながら勉強もできる。スマートフォンが普及しているからアプリも作れるはずだ。もしそれが成功して子どもたちが勉強することができるようになれば未来を担う子供が増えて将来色んなところで働けるようになる。実際に今E-learningがアフリカの教育システムに革命を始めている。

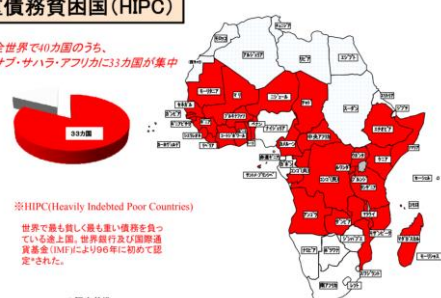
このようなアウトプットが中1で可能に

アフリカの経済成長にカカオやコーヒー、ヤシなど熱帯や乾燥帯の気候を生じた農業が元になるのではないかな？

アフリカの課題として、貧困やGDPの低さなどが挙げられるいっぽうで世界で少ない熱帯や乾燥帯が多かったり、鉄工業などがとても盛んである。そこで気候による農業の発展が貧困とGDPを助けられるのではないかと考えられる。例えば、熱帯の気候（カカオベルト）で育つカカオは8割以上が、アフリカで生産されている。また熱帯の国は少なくアフリカはおおい。他にもカカオベルトに面している国は貧困が多い事がわかる。更にサハラ砂漠があり砂漠が近くにあることによる上昇気流による水蒸気がながれ降水量も多くなっていく。これにより降水量が多いのを好むカカオは、一層育ちやすい。しかし、カカオの農業を始めるにしてもGDPが低いため、お金がなく始めることができない、そこで意見として他国が、技術とお金を貸すのはどうだろうか。またカカオ農家などは子供を学校へも行けず手伝わないといけないなど、問題がある。そこで他にも学校建設や働ける人を集め経済特区のようにし、学校などによりこれからの未来と、貧困を解決できるのではないかな？しかしお金や技術、人などを支援した他国はただでは支援してもらえない。そこで、支援した国がカカオを独占的に輸入できたり、借りなども作れる。このことから両国にメリットが生まれる制作ができるのではないかな？

重債務貧困国(HIPC)

全世界で40カ国のうち、サブ・サハラ・アフリカに33カ国が集中



※HIPC(Heavily Indebted Poor Countries)
世界で最も借入額も最も債務を負っている国と見られ、世界銀行及び国際通貨基金(IMF)により96年に初めて認定された。

* HIPCの認定基準

①1993年G1人あたりGDPが2000ドル以下

②2003年対外負債対GDPの割合が、年間輸出額の2.2倍以上、GDPの80%以上



40分間の活動を2分に短縮 中1社会（R5年2月）

社会 101

3人々による他地域とのつながり

公開済・昨日
100点

本時課題 オセアニアの他の地域との結びつきはどのように変化しているのでしょうか

- 情報の収集～整理・分析 ジャムボード
「どのように変化したか」がポイント
- 仮説立て チャット～スライド
「オセアニアの他の地域との結びつきは ～ 変化しただろう」
「～変化が見られることがオセアニアの他の地域の結びつきの特徴だろう」
- 検証 スライド
- ディスカッション

なぜオーストラリアはアジア...
<https://www2.nhk.or.jp/school/mov>

あなたの課題 割り当て済み

+ 追加または作成

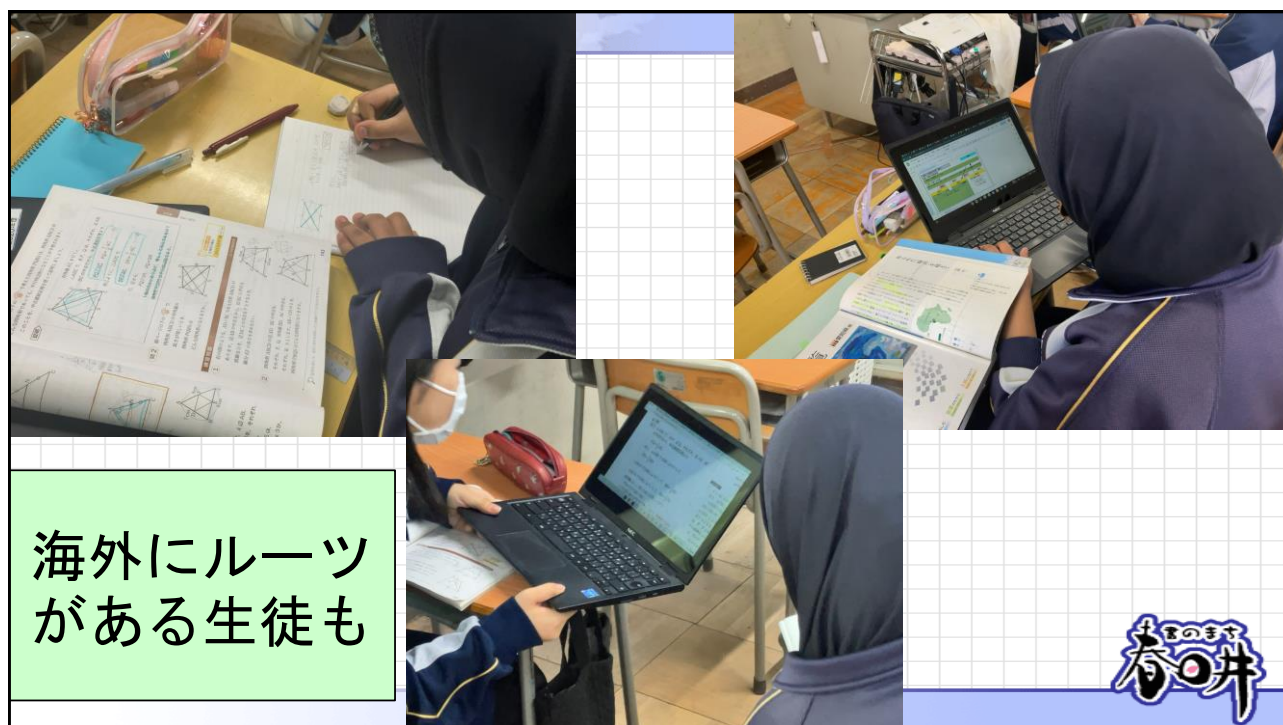
提出

限定公開のコメント
コメント欄にコメントを追加

クラスコメント
クラスコメントを追加する

春日井市立高森台中学校

2月2日 9:50 あ



もし、一人一台端末がなかったら（生徒手記から）

ぼくは手先が不器用なのでえんぴつで文字を書くのがとても大変です。

指を上手く動かせないことで長い文章を書くことができません。

頭の中に意見はあるけど、人に伝わるようにまとめるのはとても大変になります。



もし、一人一台端末がなかったら（生徒手記から）

ぼくは、見通しをもつことが苦手なので、多分何をしていいのかわからなくなります。クラスルームのおかげで迷わなくて済みます。

チャットで他の人の考えを参照することができなくなるとしたらとても大変になると思います。



生徒の感想から

「正直なところ、先生の説明を聞いて、板書をとる授業は、自分が理解しているのかわからないまま授業が進んでいく感じでした。今の授業スタイルは、自分なりに教科書の重要なところを探して、授業中にアウトプットできるので、ここは理解できたから、次はここに行こう、というふうに進められます。このやり方だと家でも自分で勉強できるようになるんです。聞く授業より理解が深まっているという気がします」

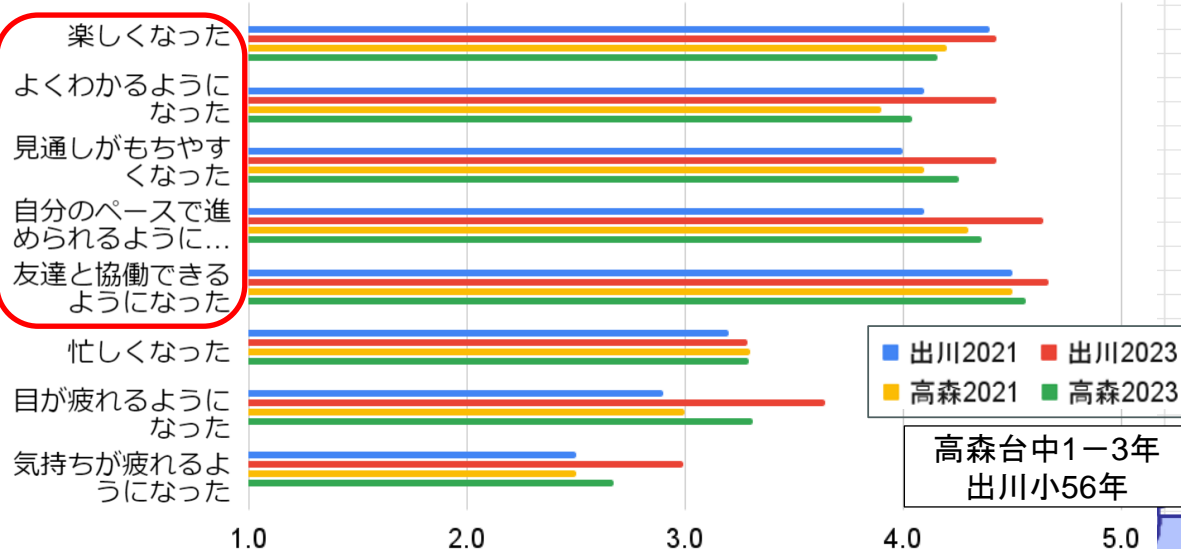
「こどもとIT」(impress)に掲載 (2023/09/14)

<https://edu.watch.impress.co.jp/docs/serial/1to1/1490546.html>



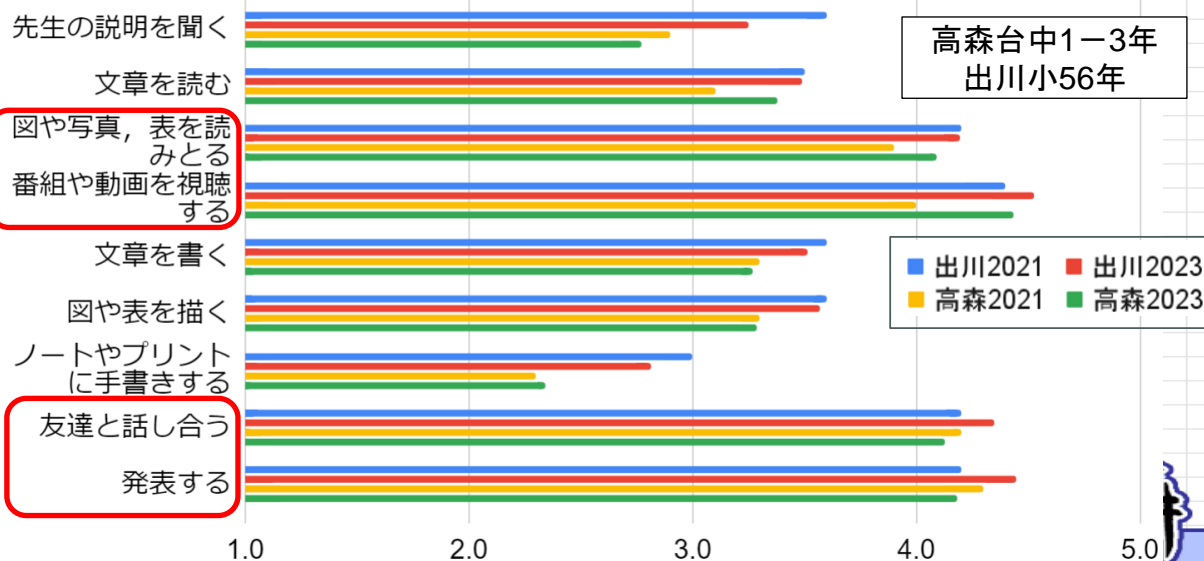
児童生徒はどのようにとらえているか

1人1台端末がなかったころと比べて、授業は



児童生徒はどのようにとらえているか

端末がなかったころと比べて、次の時間は？



3年前：大きな目標の共有

生涯にわたって
自ら学び続けられること

＋ 一人一人を大切に

まずはやってみよう！小さなチャレンジを

端末・クラウド活用+情報活用能力育成による授業の変化

- ・ 活用する手段の多様化
- ・ 児童生徒の活動時間・データ量
コミュニケーションの増加
- ・ アウトプットの量・質UP
- ・ 活動の複線化
- ・ 生徒にどんどん「委ねる」
- ・ 結果的に「教える」授業から
自ら「学ぶ」授業への変化



研究開発課題（R4～7研究開発学校）

生涯にわたって自ら学びを進めていくことができる
児童生徒の育成を目指した、これからの時代の
学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた
教育課程及び指導方法に関する研究開発



資質・能力の育成（春日井ではこうした問題解決能力の育成を目指す）

一人一人に

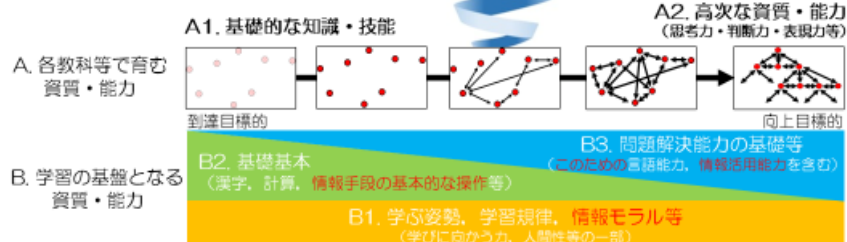
生涯にわたって能動的に学び続ける力

ウェルビーイング
 新たな価値を創造する力
 対立やジレンマに対処する力
 責任ある行動をとる力
 など、未来のどのような
 資質・能力にも対応可能な人

問題解決能力

どのような高次の資質・能力も
 問題解決活動の繰り返しで育まれるとし、
 そのための問題解決能力の育成を目指す。
 高度で実証的な問題解決能力を、
 生涯にわたって能動的に学び続ける力とする

問題解決活動の繰り返し



情報活用能力の育成
 によって問題解決的
 な活動がより充実

B3：問題解決の基礎

課題
の
設定

情報
の
収集

整理
・
分析

まとめ

発表

情報の技術

情報
科学

プログラミン
グ

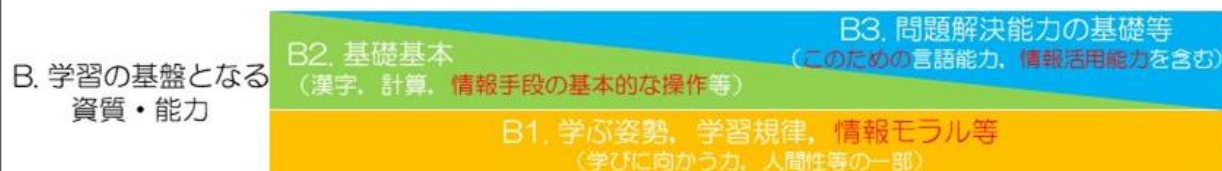
中学校は
技術科で
指導

B2:情報手段の基本的な操作等

B1:情報社会に参画する態度（情報モラル等）

研究の概要

- ・体系的な情報活用能力の育成のための
小中一貫のカリキュラム編成
- ・体系的な情報活用能力育成のための
小1～中3各学年35時間の「情報の時間」の創設と実践



4年間の見通し

【一年次】

「情報の時間」創設に向けた基礎研究・カリキュラム編成

【二年次】

「情報の時間」の先行実施・カリキュラム見直し ←今年度

【三年次】

「情報の時間」の実施・評価・改善

【四年次】

「情報の時間」の完全実施及び研究の成果と課題

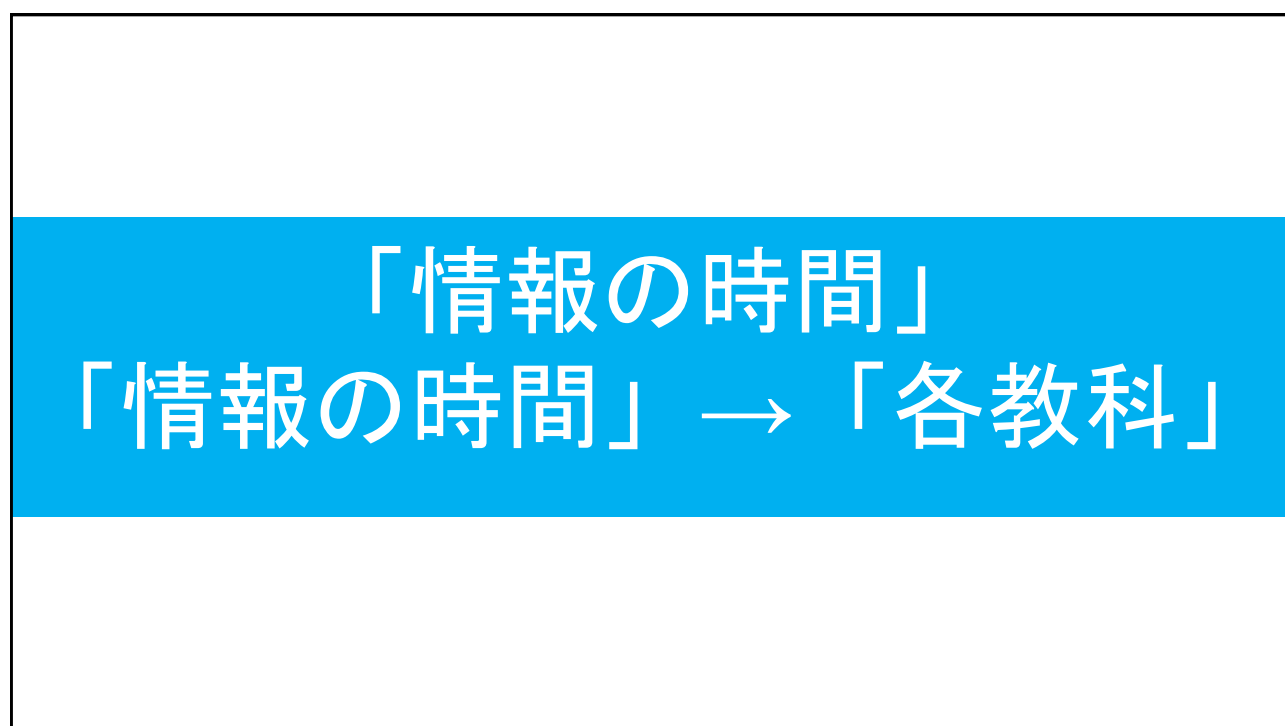
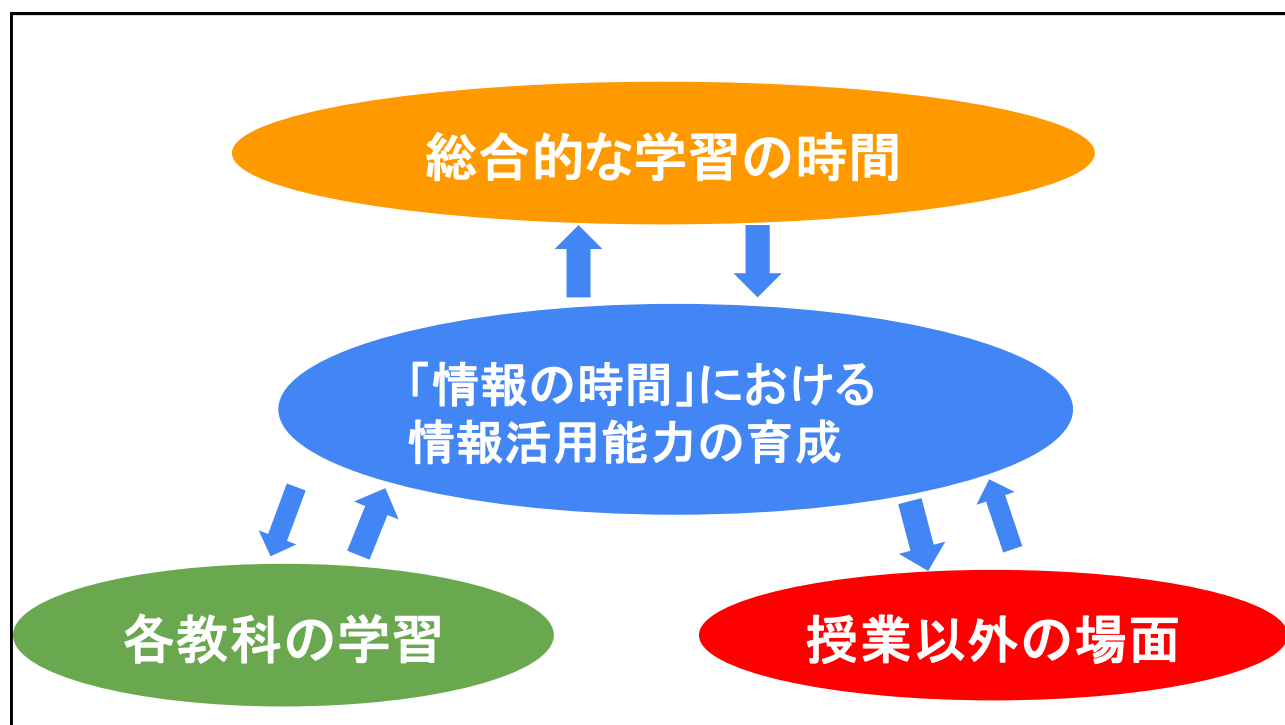
作成したカリキュラム例 中1

情報の時間					単元名・活動・目標	繰り返し経験させること	教科	
月	週	目標(情報社会に関する前知識・情報モラル等)	目標(情報手段の基本的な操作)	目標(問題解決の基礎等)			備考	国語
4月	1	パソコン利用の目的とルール		学習の目的の理解	情報の時間について知る力	学習過程を実践的に活用させる		世界の姿 統計資料の使い方 29週・B3
	2			課題の設定	課題の設定と仮説の立て方を知る			
	3			課題の設定	仮説を立てる			
5月	4		ウェブサイトの使い方	情報の収集	ウェブサイトを使った情報の収集の仕方を知る	学習過程を実践的に活用させる webサイトが一定の構造になっていることを理解して取り入れるための練習	情報整理のレッスン(比較・分析) 7週・B3	世界各地の人々の生活と環境(多面的多角的に考察する・比較して考察する)6,7週・B3
	5	目的の保持		情報の収集	課題に合わせてwebサイトから情報を収集する	自分のよく知っているものについて集めた情報の分類	よく知っているものについて他のものと比較しながらの整理 物事の抽象化	
	6			整理・分析	情報を多面的多角的に見る練習	⑧自分の意見をもとに、他者と議論をする		情報を集めるよう(インターネットの活用) 4,5週・B2,3
6月	7			整理・分析	情報を比較して見る練習	⑨自分の意見がよく伝わるような写真を撮って説明をする		書籍で調べよう 主題図の読み取り方 18週・B3
	8			整理・分析	学校の情報を整理分析する	⑩自分の意見がよく伝わるような写真にキャッチコピーを付け加えよう ⑪学習を振り返る方法を知る		年表の読み取り方 レポートにまとめよう 32,33週・B3
	9		スライドの特徴と活かし方	まとめ・表現	スライドの特徴を活かして情報をまとめる		物事を他のものと比較しながら多面的に見る 伝えたいことに合わせた写真撮影	
7月	10			まとめ・表現	スライドの特徴を活かして情報をまとめる		物事を他のものと比較しながら多面的に見る 伝えたいことに合わせた写真撮影	
	11			説明・発表	まとめたことを伝えよう			
	12	録音中継SNSの特性	チャットへの発信	説明・発表	情報の共有(チャットへの発信)とコメントの共有			身近な地域の歴史 調べるテーマを見つけよう 15週・B3
7月	13			振り返り	振り返り目的を知る			

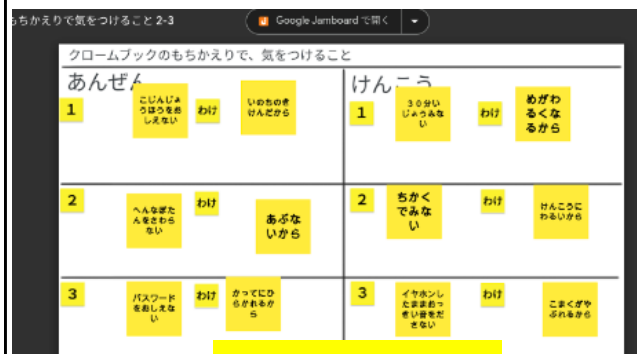
各教科との関連性

どの単元の学習成果が、
どの教科の学びに結びついているかを理解させる

情報の時間					単元名・活動・目標	繰り返し経験させること	教科			
月	週	目標(情報社会に関する前知識・情報モラル等)	目標(情報手段の基本的な操作)	目標(問題解決の基礎等)			備考	国語	社会	数学
4月	1			課題の設定	1 主題を文脈にまとめよう					
	2			課題の設定	①小説文を読む、書き出す ゴールを知る					
	3			情報の収集	②小説文の構成や内容を知ら "写"て書く、必要に応じて調べる	・事象関係をたよりに集める ・事象関係を集めること ・多面的多角的にみる				
5月	4			情報の収集	③論理的思考力、仮説を立てて説明する "意見の積み上げ"	・仮説を立てて説明する ・主語と述語 ・意見を伝える理由と客観的事実	文章の種類を選んで書く(文章の種類を選び、構成を工夫して魅力的な紙面を構築する・情報の信頼性)5週①・7週B3	第1次世界大戦 大正デモクラシー 世界恐慌、第2次大戦と日本 比較・多面的多角的に考える)16週・B3		科学で調べよう(考察の仕方・議論の仕方・発表の仕方)6週・B3 11週・B3
	5	情報の活用(個人と社会)		整理・分析	④論理的思考力、仮説を立てて説明する "意見の構成の方法"	・仮説を立てて説明する ・理由を明確にする				
	6			整理・分析	⑤論理的思考力、仮説を立てて説明する "ゼロからチャットをまとめる"	・ゼロからチャットで構成する ・理由を明確にする				
6月	7			整理・分析	⑥テーマを決める "興味をたどる"	・ゼロからチャットで構成する ・マインドマップ	具体化・抽象化 15週・B3 実用的な文章を比較して読む 3週・B3			
	8			まとめ・表現	⑦仮のテーマを決め、情報を収集する "事象や関係を集める"					
	9			まとめ・表現	⑧仮のテーマを決め、情報を収集する "事象や関係を集める"					
7月	10			まとめ・表現	⑨理由付け、意見を伝える(構成) "主題と根拠をついて意見を伝える"					
	11			説明・発表	⑩小説文をまとめる(構成) "事象や関係を集める"					
	12			説明・発表	⑪小説文をまとめる "意見と根拠をついて意見を伝える"					
7月	13			振り返り	⑫活動の振り返り					

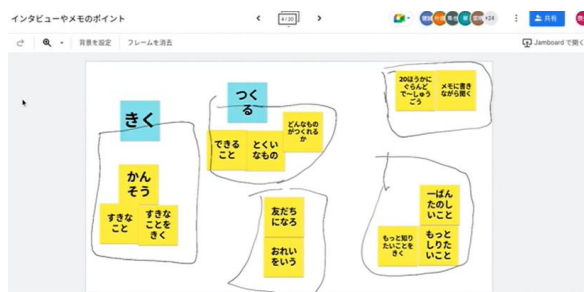


小2（情報の時間）集めた情報を整理する



教師が作った枠で整理

6月 単元名：「めざせ！端末もち帰りマスター」



枠なしで自分一人で整理

9月 単元名：「お友達のことを知ろう」

低学年では情報収集・整理分析も徐々に自分で行えるようにしていく

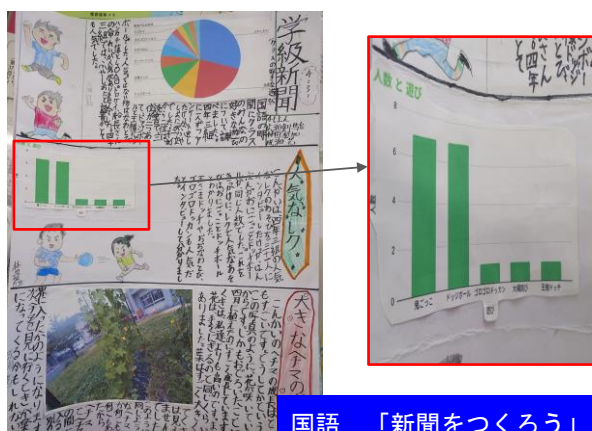
小4（情報の時間→国語）学習の転移

6月28日, 15:03

日	月	年	時	分	秒	日	月	年	時	分	秒
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



情報の時間 単元名「身の回りの情報を整理し、まとめよう」



国語 「新聞をつくろう」

数値データを利用してグラフや表にする良さを学び→国語の「新聞を作ろう」ではグラフを入れた新聞を作ることができた。

中学校1年

「高森台中学校のよさを 動画で紹介しよう」 実践の様子

9月	14		課題の設定	伝える相手と目的、メディアを選択しよう	2. 動画を作って中学校を小学生に紹介しよう 目 動画の特徴を活かして問題解決をする ①問題解決におけるメディアの役割を理解する 特に動画に着目して ②インタビューの必要性と方法を知る ③動画アプリの使い方に慣れる ・ドミンゴ ・タイトル挿入 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	メディアを使った問題解決 インタビューを経験する 動画編集ソフトの操作 カメラワーク 音の挿入 動画の作成 データの扱い
	15		課題の設定	意図を立てよう		
	16	画像種・確認	情報の収集	インタビューをしよう		
10月	17	フォームの操作・セクション	情報の収集	質問をつくらう	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	カメラワーク
	18	詐欺グラフ	情報の収集	データの見方	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	音の挿入 動画の作成
	19	スプレッドシート?	整理・分析	グラフの作り方 グラフの種類 目的にあったグラフをつくる	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	データの扱い
	20		整理・分析	グラフからわかる情報を整理分析しよう	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	データの扱い
11月	21	切り取りとられた情報	まとめ	情報まとめよう 視聴者から見る(動画の情報の構成要素)	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	
	22	動画のリミント	まとめ	動画の編集	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	
	23	動画のタイトル挿入	まとめ	動画の編集	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	
12月	24		説明・発表	ディスカッションの方法	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	
	25		説明・発表	動画を鑑賞する	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	
	26	受け取る人の気持ちを考えて	メールアプリ	説明・発表	メールをしよう	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

何のための時間か

動画づくり
そのものを
目的化しない

2学期の課題

動画をつくって、中学校の〇〇を小学生に紹介しよう

2学期の目標

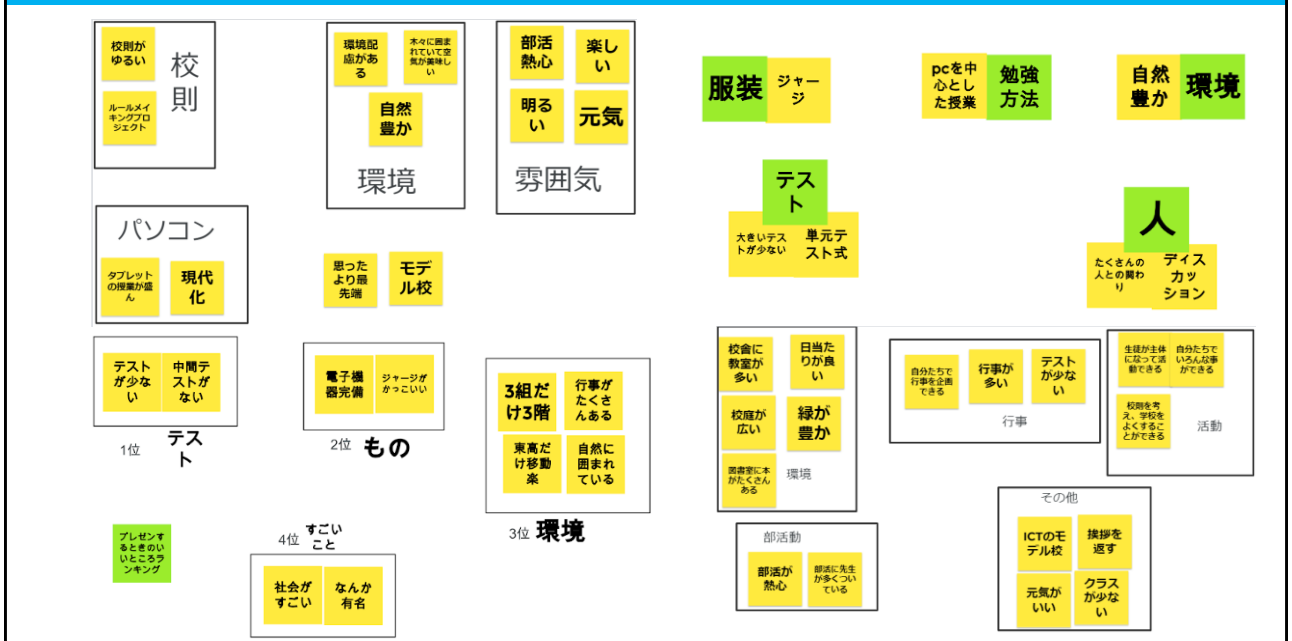
動画の特性を活用した問題解決ができるようにしよう

何度も繰り返して体験できるように設計

	各回の学習内容と目標	各回のまとめ
第1回	動画の特性を知ろう	動画の特性を活用すると「伝える」という課題が解決しやすい。
第2回	インタビューの仕方や効果を体験しよう	動画には文字には無い情報を載せることができる。
第3回	動画制作①(導入編) GANVAを使ってみよう	絵コンテを工夫すると伝わりやすい。
第4回 第5回 第6回	動画制作①(基礎編) 高森台中ミニニュース ～カメラワーク～ ～効果音・アニメーション～ ～鑑賞会・振り返り～	動画編集を工夫することで伝わりやすい。 効果音や音声、アニメーションを工夫すると伝わりやすい。 動画編集を工夫することで「伝える」という課題が解決しやすくなる。
第7回	これまでの学習を振り返ろう	必要な情報を効率的・効果的に集めて整理・分析するとともに、相手に伝わりやすくなるように編集を工夫することで課題を解決しやすくなる。
第8回 第9回	データの見方・使い方を知って活用してみよう	相手ベースで情報を見える化(可視化)すると伝わりやすい。
第10回 第11回 第12回	動画制作②(実践編) ミニニュース ～より伝わるよう、工夫して編集しよう～	動画制作に必要な情報を効果的・効率的に集めて整理・分析するとともに、相手に伝わりやすくなるように編集を工夫することで課題が解決しやすくなる。
第13回	鑑賞会で他者の動画の良さを見つけよう	主体的、協働的に取り組むんだり、他者との意見交換をすることで課題解決しやすくなる

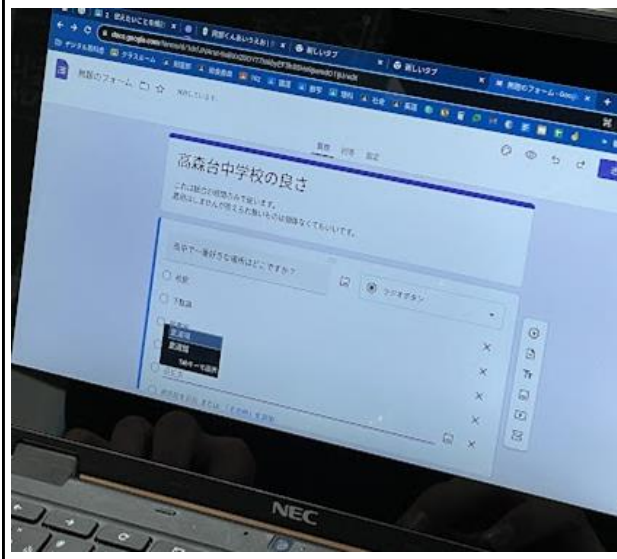
動画づくりを何度も繰り返す機会をつくる

自分の学校のよさを集めて整理する



データを集めて、根拠にする

アンケートをつくる



集めたデータをグラフ化する



作る過程、できあがったものを見て何度も議論する



単元を通して、自分がどのように変化したか

生徒の振り返り

- ・ 動画制作を通して、**伝えたいテーマを意識**し、それにそったものを作ろうとする力や、それをどうやって表現するか考える力が身についた。
- ・ **他の人の動画を参考にし**、自分たちの動画に足りないところや、その動画がもっている良いところなどを見つけ、それを参考にし、自分の動画に吸収していくことが、動画だけじゃなく、何かを作る上で大切だと思った。
- ・ 動画を作るときには、テーマ決めや、絵コンテなどの事前の準備が大切だと思った。これは、動画制作だけでなく、**他のものを作るときにも言える**ことだと思う。



自分の学び方を身に付ける

児童への問い（小学校）

「授業中にどのようなことができるようになったと思いますか？」

- ・ **キーボードを早く打てるようになった**ので、スラスラ打てている役にたちました。
- ・ 情報を集めるときに、**情報を比較して、情報を分類したり、情報の共通点を見つけたり、情報を関連付けたり**することができるようになった。
- ・ **自分の意見を理由を付けて、みんなにわかりやすい表現で言う**ことができるようになった。
- ・ **相手の考えや主張を、自分と比較してとらえる**ことができるようになった。
- ・ **アウトプットを心がけて、他の人と意見を共有して、相手の意見を自分に活かす**ことができるようになった

生徒への問い（中学校）

「授業中にどのようなことができるようになったと思いますか？」

1 パソコンを活用した意見形成

- ・パソコンを使い情報収集し、友達と議論して意見を深めた経験
- ・小学校と比べてパソコンを使った授業が増え、スキル向上

2 意見の洗練と多面的な視点の獲得

- ・他者の意見を参考にし、自己の考えを改善する能力の向上
- ・友達とのディスカッションから多面的な視点を身につけた経験

3 デジタルツールを使ったスキルの向上

- ・パソコンを活用した情報まとめやプレゼンスキルの習得
- ・授業内容や学習の振り返りで資料作成スキルを向上

4 学習スタイルと自己表現の進化

- ・デジタルツールを活用して学習スタイルが変化し、自己表現が向上した経験
- ・チャットやディスカッションを通じて多くの情報を得て、考えを深めた

5 自立心とスキル向上

- ・自己目標を立て、友達と協力して学習を進め、自立心を育んだ経験
- ・パソコンやデジタルツールを使い、多面的に物事を考えるスキルの向上

児童への問い（小学校）

「情報の時間で学んだことを他の学びのどのような場面で使いますか？」

・情報収集のしかたや整理分析のしかたが総合、国語、社会で使うことができていると思います。情報収集したことをうまく分けれるようになりました。（小3）

・いろんな図を使って整理したりしてグラフの作り方とかどのように整理したりすればいいかとかがわかりました。自分でも最終的にまとめでまとめるということがわかりました。（小4）

・スライドで発表するときに素早く、わかりやすいスライドを作ることができ、スライドの機能も理解することで、発表の際要点をわかりやすくすることができる。（小5）

・まとめる力が身についたので他の教科で表やグラフを作ったり共同作業など普段はやらないことをやったりしたので他教科で役立てられていると思う。（小6）

生徒への問い（中学校）

「情報の時間で学んだことを他の学びのどのような場面で使いますか」

- ・集めた情報を色分けしたり、図を使って説明したりと、コミュニケーションや発表・説明の仕方などを国語や理科、社会、数学、音楽に使うことができていると思います。（中1）
- ・今までは、グラフの作り方曖昧だったけど、情報でグラフ・表など作り方をしっかり覚えたことで、理科の実験や、英語の比較できるグラフをスムーズに行うことができました。（中2）
- ・情報収集の際に、その情報が正しいのかなどを吟味して活用する、発表資料を作る際にグラフや表などの資料を効果的に活用することができる。（中3）

教員（小学校）から見た児童の変化

- ・ **信頼できる情報かを見極めて情報を収集**している児童が増えた、情報収集しながら整理し始めたり、整理の仕方をはじめに想像しながら情報収集する児童が増えた。
- ・各教科で学んだことを情報の時間に生かす、情報で学んだことを各教科で生かすという**相互作用**がうまれていると思う。
- ・今まで、各教科の時間内で学習内容とは関係ないスキルを教える必要があり、学習内容の深まりにかけの部分があったが、**情報の時間内でPCスキルや学習方法のスキルについて学ぶ時間をとることができる**ようになった。
- ・児童同士での学び合い・教え合い・アウトプットの時間が増え、本当に**教師を必要としている児童に支援に行くことができる**ことが増えた。
- ・情報の整理・分析の経験が他教科でもあるため、**教科で方法を教えたことがないのに児童が学習を進める**ことができた。
- ・複数の情報を比べることで、その内容を**多面的にとらえる**ことができるようになってきた。

教員（中学校）から見た生徒の変化

- ・ **この取り組みをしていなければ、説明する内容が増えて、時間がかかる。共有・連絡が不便になり、時間がかかると思う。**
- ・ ものごとの理解を深めるために、多面的に調べたり、得られた情報の信憑性を調べたり、仲間と協働で学びを深めることで自分なりの意見をもつことができるようになってきている。こうした思考を深めることは、**生涯にわたって学び続ける資質向上にもつながる**と考える。
- ・ 教科の授業中での端末の操作の指導がかなり減った。おかげで、**生徒が情報と向き合う時間が確保できている**。また、思考ツールなども、紹介せずとも自らの判断で適切なものを選択・使用できる姿が見られた。
- ・ 授業で必要なスキルをまとめて情報の時間に指導してくれるので、プレゼンの仕方やチャットの使い方等、詳しく指示をしなくても**生徒たちが自分で学習を進める姿が多く見られるようになった**。
- ・ 教師目線としては、情報活用を前提とした授業では、教材研究にこそ時間がかかるけれど、内容が固まってしまえば、準備自体はさほどかからないので、大幅な時間短縮になる場合もあると感じています。

探究的な学習の過程で情報活用能力を発揮する生徒

仮説

人間の性格はパターン化されていて、それを血液型に当てはめたのだろう。

流れ

- 1.血液型と性格の関係
- 2.アンケート結果
- 3.アンケート結果の分析
- 4.まとめ(自分の考え)

中学校



3.アンケート結果の分析

世の中の血液型性格診断

A型	真面目、神経質、几帳面
B型	明るい、マイペース、自己中心的
O型	楽天的、おおらか、おおざっぱ
AB型	天才肌、性格が理解されにくい、二重人格

アンケート結果

A型	几帳面、真面目、適当
B型	マイペース、明るい、自己中心的
O型	おおざっぱ、整理整頓が苦手
AB型	気分屋、趣味が多い

◎自分の考え

性格は

生まれつきの気質、

食べるものや兄弟の形成等の育つ環境で

全然変わってくると思う。

血液型性格診断は参考程度に！！

偏見を持たないで、適度に楽しみましょう。

世間に広まる性格特徴と一致する点も！



異なる意見も…



養護教諭の保健指導でも同様に学ぶことが可能に



最後は
アウトプット

来年度に向けて
カリキュラムの見直し
を進めています

各学年で繰り返し取り
組んできたことで、か
なり自分でできるよう
になってきた

操作について基礎的な
ことは指導してきたが、
細かな操作や関数など
の指導は見直しが必要

B3：問題解決の基礎

課題
の設定

情報
の収集

整理
・分析

まとめ

発表

情報の技術

情報
科学

プログラ
ミング

中学校は
技術科で
指導

B2:情報手段の基本的な操作等

B1:情報社会に参画する態度（情報モラル等）

